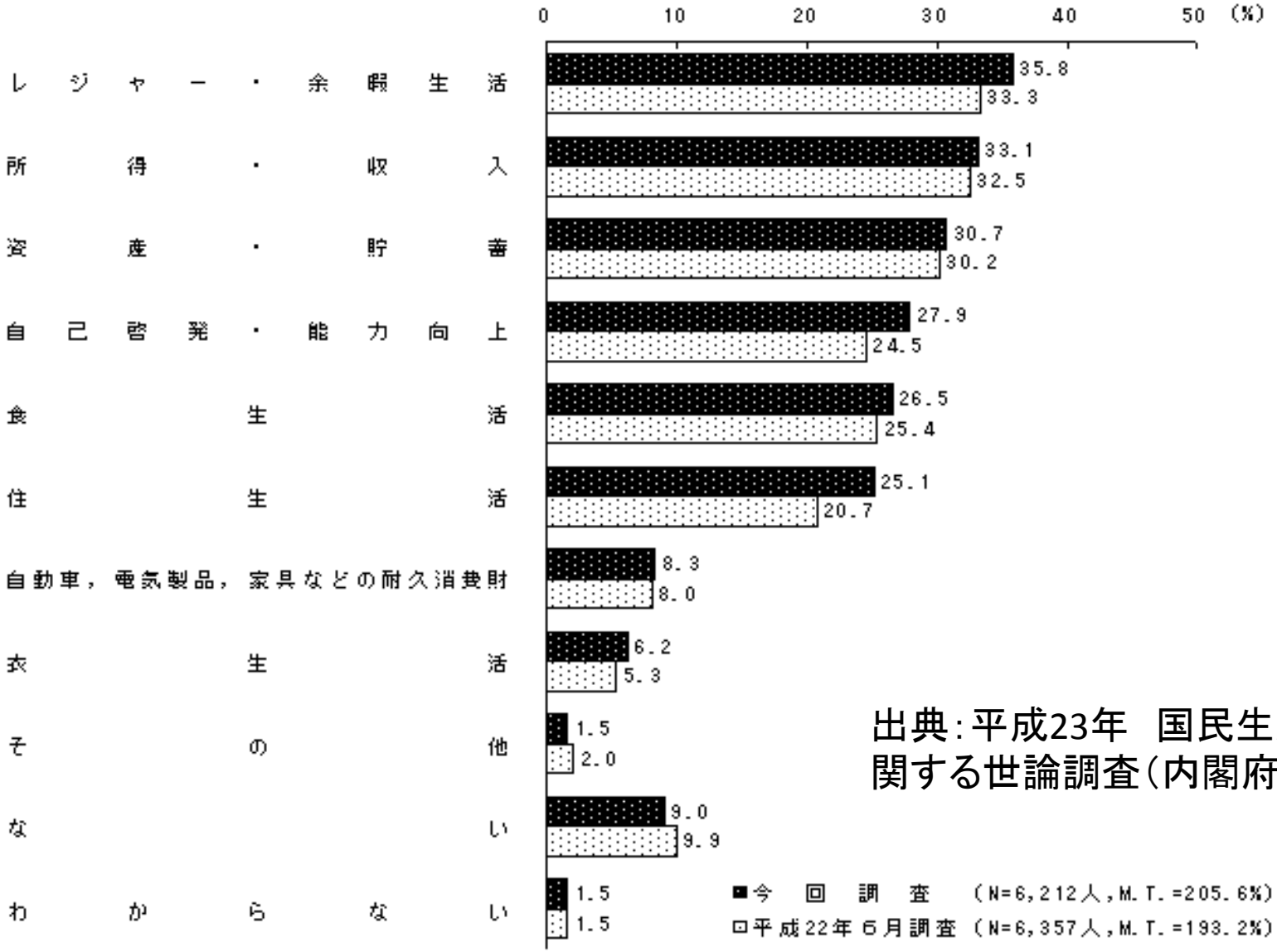
嬬恋村側からの登山道の必要性と登山道がもたらす効果

～エコツーリズムの視点から～

浅間・吾妻エコツーリズム協会理事長　赤木道紘

世論調査　今後の生活の力点



出典：平成23年　国民生活に関する世論調査（内閣府）より

余暇活動上位20種目（全91中）と観光・行楽部門の参加、消費実態

図表9　余暇活動の参加希望率上位20種目

全　体

順位	余暇活動種目	%
1	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など）	72.5
2	外食（日常的なものを除く）	60.5
3	ドライブ	47.3
4	海外旅行	42.5
5	映画（テレビは除く）	39.3
6	動物園、植物園、水族館、博物館	39.2
7	パソコン（ゲーム、趣味、通信など）	38.2
8	宝くじ	35.3
9	カラオケ	33.5
10	ビデオの鑑賞（レンタルを含む）	31.4
	音楽会、コンサートなど	31.4
12	ピクニック、ハイキング、野外散歩	30.8
13	音楽鑑賞（CD、レコード、テープ、FMなど）	29.1
14	園芸、庭いじり	28.9
15	遊園地	27.8
16	バー、スナック、パブ、飲み屋	24.8
17	催し物、博覧会	24.2
18	ジョギング、マラソン	23.5
19	テレビゲーム（家庭での）	23.1
20	スポーツ観戦（テレビは除く）	22.5
	海水浴	22.5

図表11（二）　余暇活動への参加・消費の実体（平成19年）

（二）観光・行楽部門	A 参加人口（万人）	B 参加率（%）	C 年間平均活動回数（回）	D 年間平均費用（千円） 用具等	会費等	合計	E 一回当たり費用（円）	F 参加希望率（%）
(1) 遊園地	2,860	25.9	3.0	—	23.2	23.2	7,730	27.8
(2) ドライブ	5,130	46.4	13.4	—	33.2	33.2	2,480	47.3
(3) ピクニック、ハイキング、野外散歩	2,630	23.8	12.0	2.8	12.4	15.2	1,270	30.8
(4) 登山	570	5.2	5.1	8.6	21.8	30.4	5,960	11.0
(5) オートキャンプ	520	4.7	3.6	16.2	25.8	42.0	11,670	13.2
(6) フィールドアスレチック	280	2.5	3.9	0.7	7.8	8.5	2,180	4.4
(7) 海水浴	2,040	18.5	3.0	4.6	19.7	24.3	8,100	22.5
(8) 動物園、植物園、水族館、博物館	4,160	37.7	3.5	—	12.3	12.3	3,510	39.2
(9) 催し物、博覧会	2,050	18.6	4.7	—	12.2	12.2	2,600	24.2
(10) 帰省旅行	2,320	21.0	3.5	10.3	71.8	82.1	23,460	21.5
(11) 国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など）	5,700	51.6	3.6	13.0	96.4	109.4	30,390	72.5
(12) 海外旅行	1,080	9.8	2.0	33.8	308.3	342.1	171,050	42.5

一年間に経験する余暇種目数

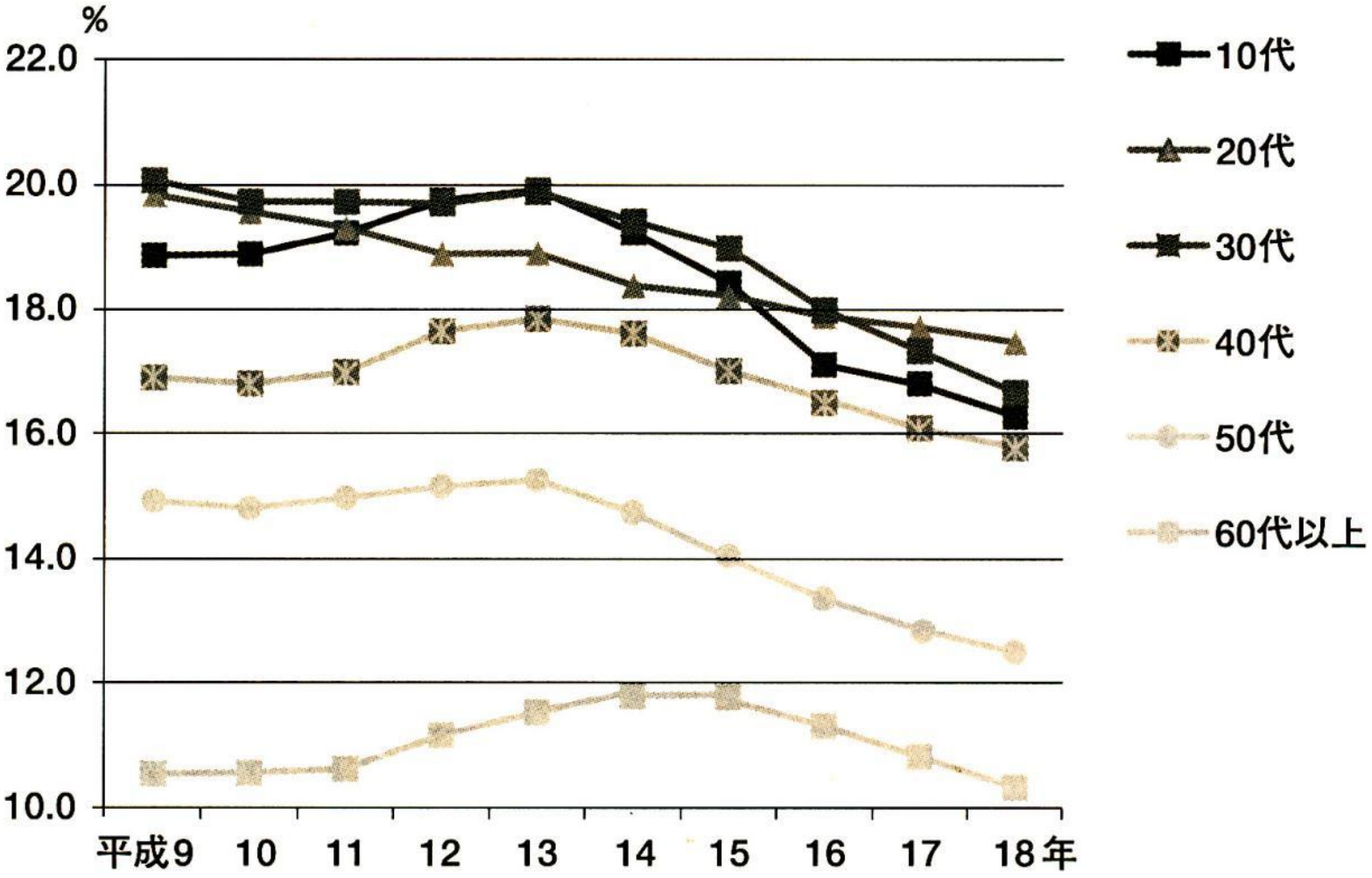
年代別・平均経験活動数の変化　（単位：種目）

	1997年	2007年	減少個数	減少比率
全体	17.8	14.5	−3.3	−18.5%
10代	21.6	15.6	−6.0	−27.8%
20代	18.7	15.2	−3.5	−18.7%
30代	19.2	15.7	−3.5	−18.2%
40代	17.9	14.8	−3.1	−17.3%
50代	16.2	13.8	−2.4	−14.8%
60代	16.0	13.3	−2.7	−16.9%
70代以上	12.2	11.7	−0.5	−4.1%

注）97年の調査種目総数は全90種目、07年は91種目。

出典：レジャー白書2008

余暇活動参加率の推移



出典：「レジャー白書2007」

出典:レジャー白書2008

（二）観光・行楽部門

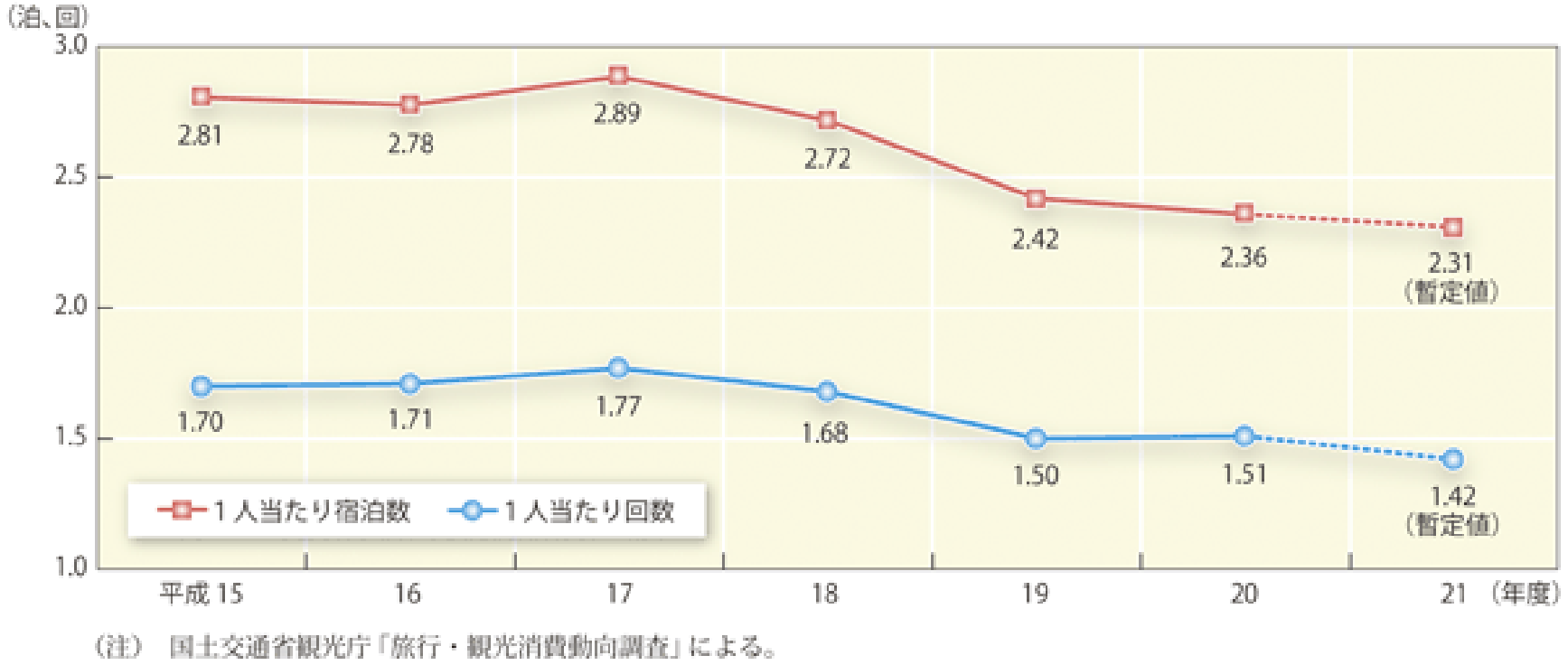
何が起こっているのか…

		年間活動回数（回）			年間平均費用（千円）		
		95-97年平均	05-07年平均	変化率	95-97年平均	05-07年平均	変化率
1	遊園地	3.2	2.9	−9.4%	20.6	22.8	10.7%
2	ドライブ	12.7	13.5	6.3%	32.7	31.8	−2.8%
3	ピクニック、ハイキング、野外散歩	10.2	13.2	29.4%	17.2	13.7	−20.3%
4	登山	3.9	5.6	43.6%	30.2	35.0	15.9%
5	オートキャンプ	2.9	3.3	13.8%	48.5	38.8	−20.0%
6	フィールドアスレチック	−	−	−	−	−	−
7	海水浴	2.9	2.7	−6.9%	22.7	20.8	−8.4%
8	動物園、植物園、水族館、博物館	3.6	3.4	−5.6%	12.7	12.0	−5.5%
9	催し物、博覧会	4.1	4.3	4.9%	13.2	15.0	13.6%
10	帰省旅行	3.3	3.5	6.1%	100.6	77.7	−22.8%
11	国内観光旅行	3.4	3.5	2.9%	121.7	104.1	−14.5%
12	海外旅行	1.6	1.8	12.5%	360.5	333.8	−7.4%

選択投資型余暇の時代

- 余暇種目を絞り込みする傾向
- 好きなものには何度も行くしお金もかける
- 登山は回数、金額ともに上昇している
- ただしピクニック、ハイキング、野外散歩は金額が下降
- 浅間山はハイキングではなく、登山
- しかし、群馬県側（浅間山北麓）に宿泊を伴っているのだろうか…？

国内宿泊観光旅行の概要



(注) 国土交通省観光庁「旅行・観光消費動向調査」による。

一人あたりの平均宿泊数は2.31泊、一年間で1.42回

出典：観光白書（H22年度版）

毎日新聞旅行が6/1（金）、6/2（土）18,000円で販売中の浅間山ツアー

★1日目：新宿西口22:30発〈貸切バス〉〈関越・上信越道〉（車中泊）

★2日目：＝小諸＝天狗温泉・浅間山荘前（1400m）…火山館前…湯ノ平…賽ノ河原…浅間山（前掛山:2524m）…往路を下山…同山荘＝あぐりの湯（入浴付）＝小諸〈上信越・関越道〉新宿17:00～18：30頃着（歩程＝約6時間）

アルプスエンタープライズが6/9（土）、6/10（日）35,800円で販売中の浅間山ツアー

①新宿（8:00頃）‥中略‥小諸‥‥池の平湿原‥高峰山往復‥‥高峰高原ホテル：温泉【泊】〔ーータ〕

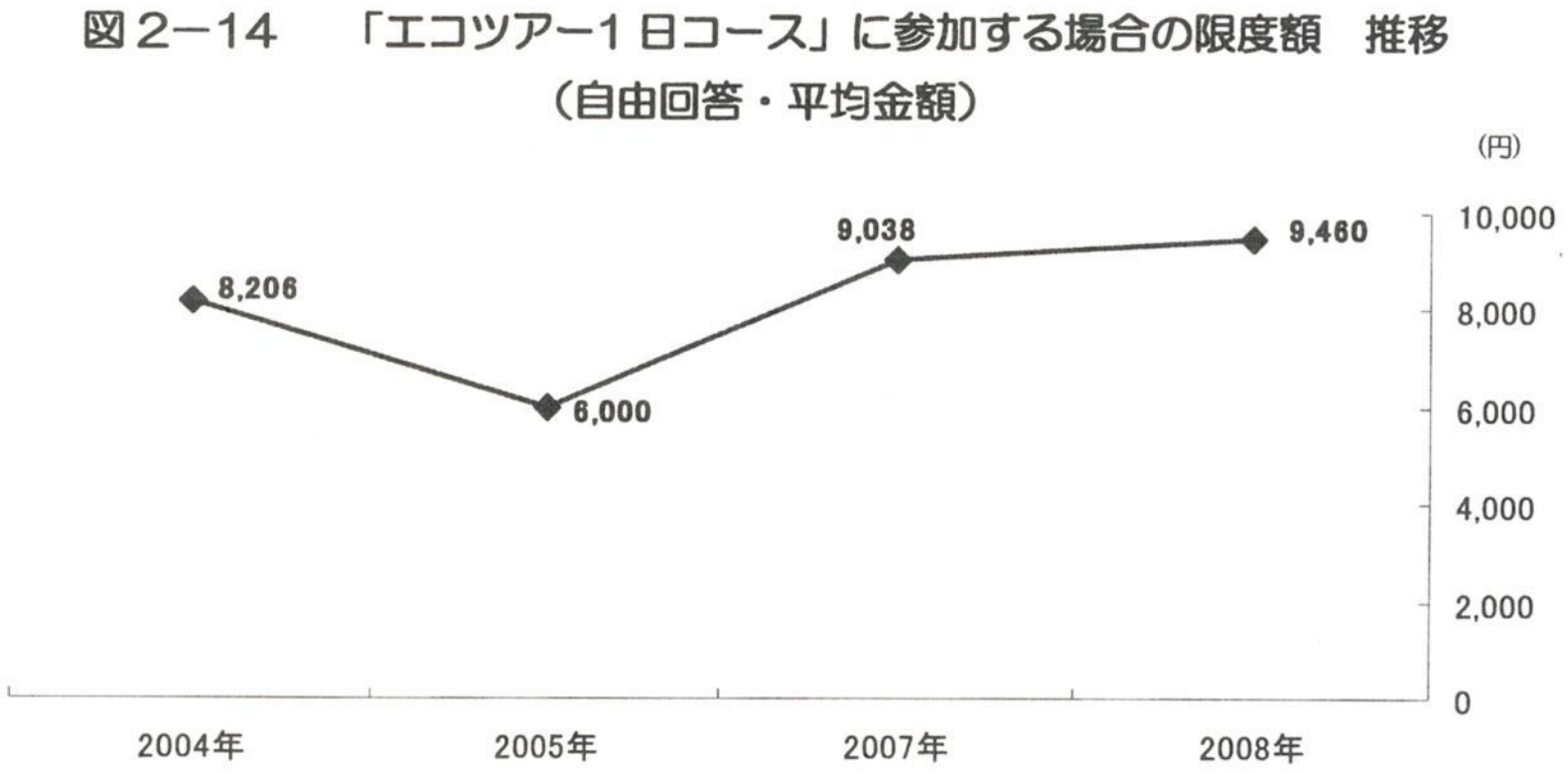
②ホテル…車坂峠(1973m)…黒斑山(2404m)…蛇骨岳‥鋸岳…‥賽の河原‥‥浅間山：前掛山：2524m‥‥火山館‥‥浅間山荘（1400m）（入浴各自）‥小諸IC‥‥新宿（21:00頃）〔弁弁ー〕（歩程＝約8時間）

→　これが11時間のコースだったら？

屋久島、縄文杉ツアーの場合

- 歩行距離 往復約22.0km
- 標高差 700m (600m - 1300m)
- 所要時間 14時間（森の滞在時間 10～11時間）
  （お宿出発 am4:00～4:30 - 帰着 pm～6:00）
- 大人13,500円小人10,500円、最大7名まで（旅楽）
- 人気のコースは縄文杉キャンプツアーコース
  （2名でガイド貸切の場合2日間で合計74,000円）

エコツアーの単価、いくらまでなら

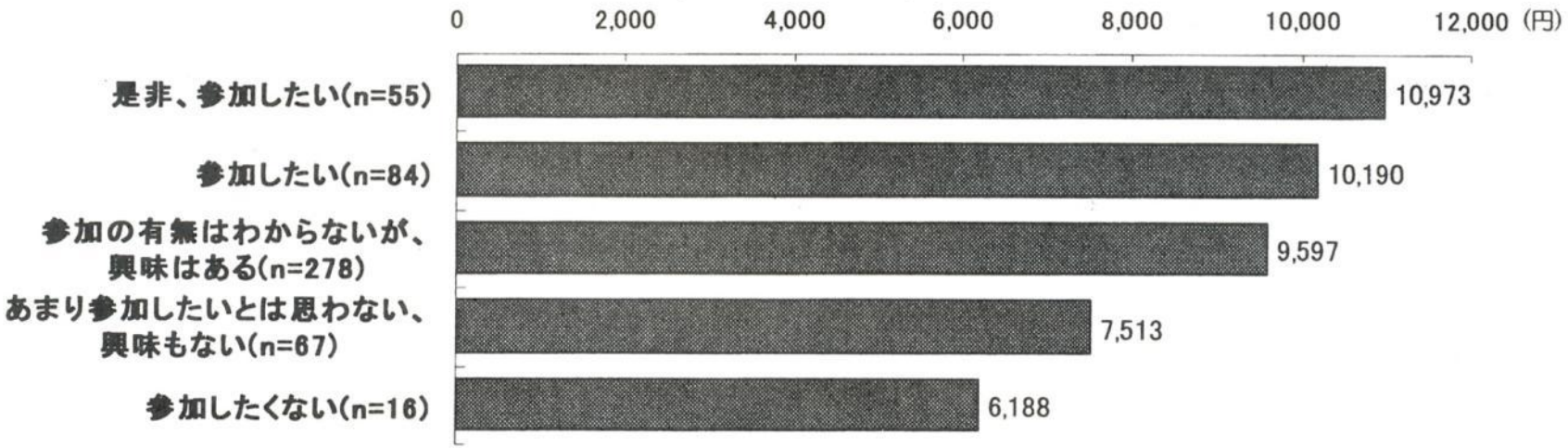


エコツアー1日コースは平均で9,460円

出典：2008年度エコツーリズムに関する消費者ニーズ調査

お金を払う人はどんな人？

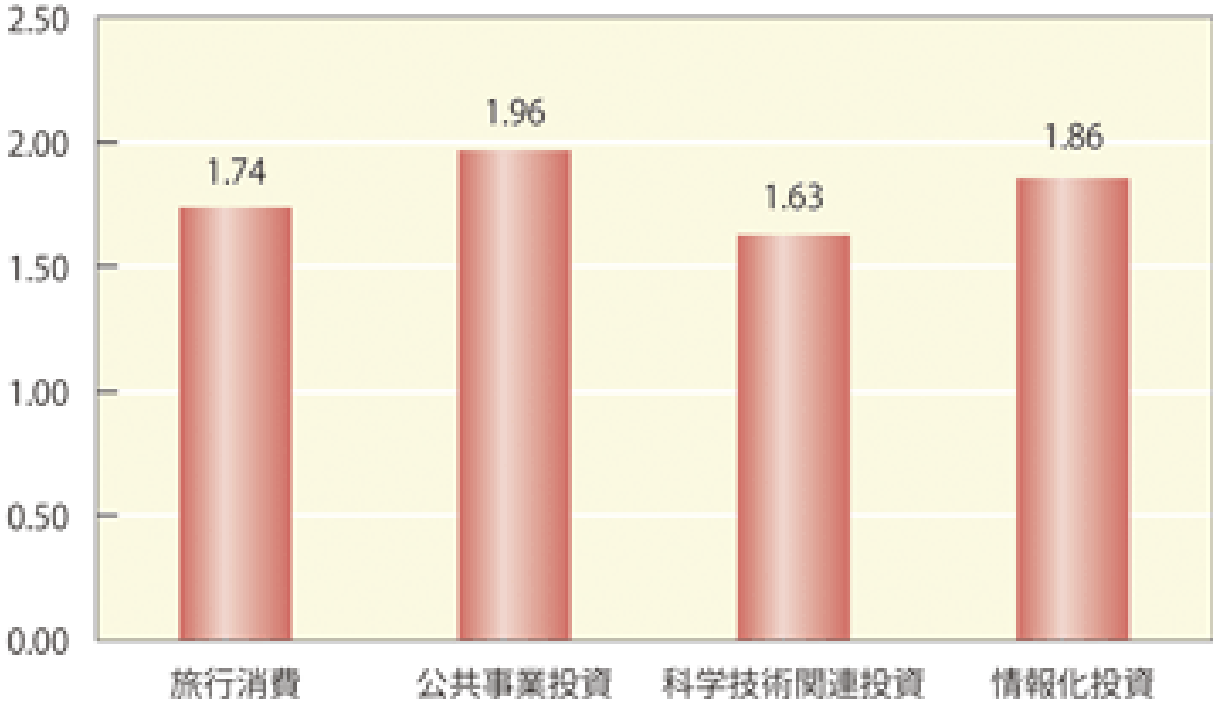
図２−15　「エコツアー」の参加意向別
「エコツアー1 日コース」に参加する場合の平均限度額（自由回答平均）



積極的に参加したい人なら10,973円出す

出典：2008年度エコツーリズムに関する消費者ニーズ調査

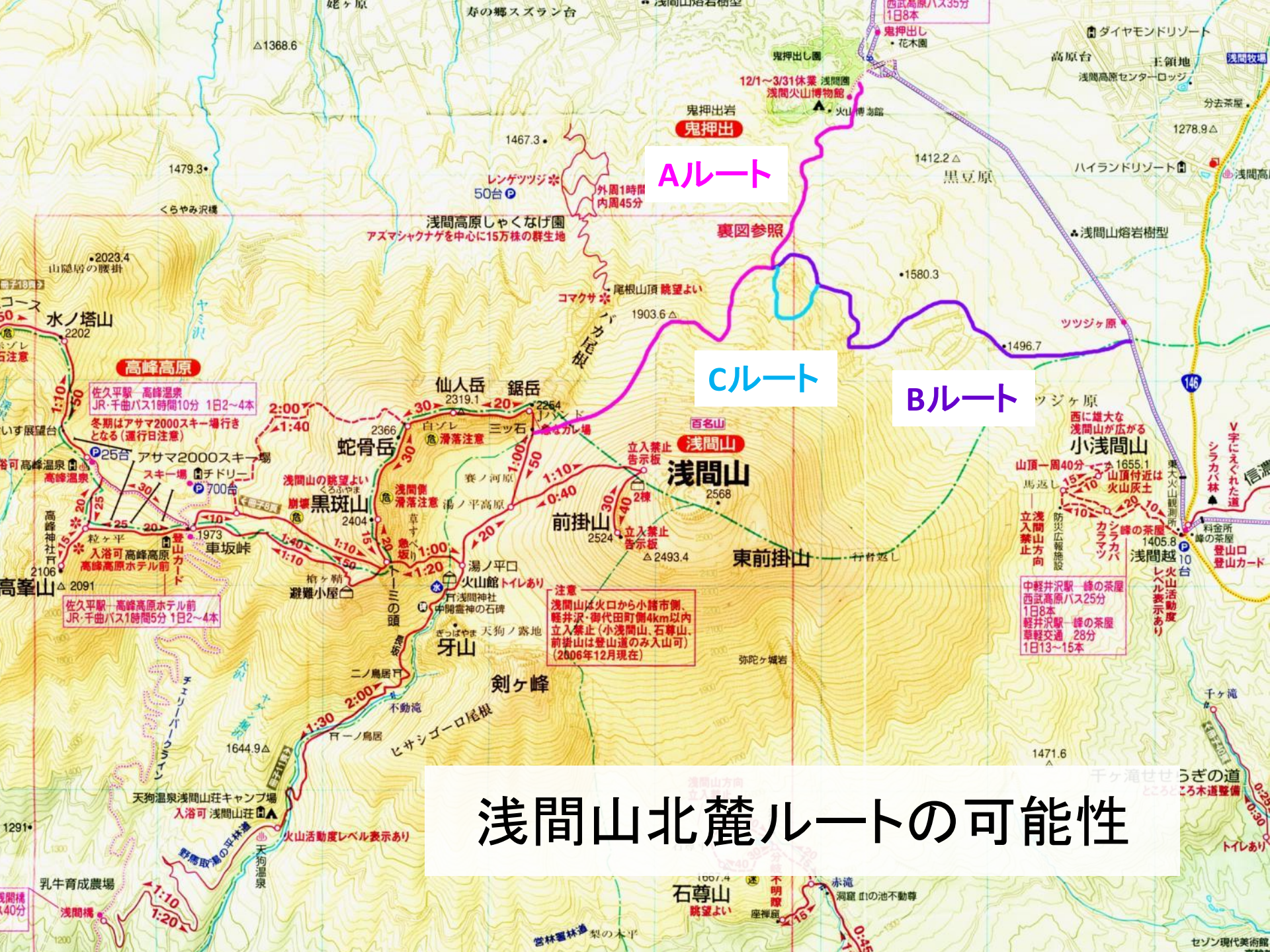
生産誘発係数の比較



旅行消費による生産波及効果(生産誘発係数)は1.74（平成20年度推計）。これは、公共事業投資や科学技術関連投資、情報化投資の生産誘発係数と同程度である。

夢の浅間山登山道 北麓ルート

- 10時間以上かかる登山道なら前後泊の宿泊客を獲得できるチャンスがある。
- エコツアーガイドは夏期のキャベツ畑の仕事と同様以上の収入を得られる可能性がある（尾瀬では荷物運びの仕事もある）。
- 従来よりももっと魅力的で斬新な浅間山登山道を策定する必要がある（選択投資するハイカー達の獲得）。
- エコツーリズム推進法の「全体構想」を作成した協議会の構成員については、自家用車での送迎も合法（地域エコツーリズム推進協議会の設立が必要）。



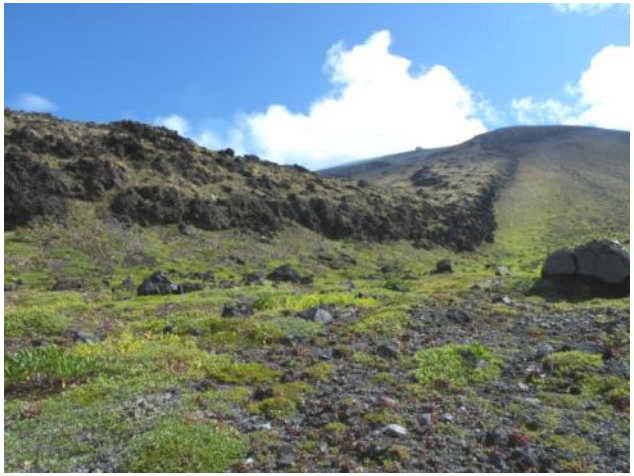
浅間山北麓ルートの可能性

Aルート：浅間園～鬼押出し溶岩流分岐～西の砂礫～逆さ馬～三ツ石合流

溶結した小滝火砕流

鬼押出し溶岩流

西の砂礫を眺める



逆さ馬付近

Bルート：六里ヶ原～舞台溶岩～樹林帯
鬼押出し溶岩流合流点～

片蓋川を上る

広大な六里ヶ原

舞台溶岩と鬼押出し溶岩

鬼押出し溶岩登り口

Cルート：六里ヶ原～舞台溶岩～東の溶岩流
～東の砂礫～鬼押出し溶岩流合流点～

鬼押出し溶岩流の中で無難に登れる場所

遷移の進んでいない溶岩流

まるで月面

通ってきた東の砂礫

住民効果 ～深まる浅間山との絆、広がる交流～

- さまざまな年代や状態の火砕流や溶岩流に触れ、学習する事ができる。
- 北麓から登れる正規ルートができる事により、郷土の山としてより身近になる。
  - “裏“”秘密”ルートなどの暗いイメージの払拭。
  - 近いが遠い、『他県の山』イメージが変わる。
- 世界の活火山・浅間山としての注目度が上がれば外国人旅行者の増加も。浅間山北麓に居ながらにして世界中の旅行者との交流が生まれる。